

立野ダム建設事業等の点検について

平成24年9月11日

国土交通省 九州地方整備局

残事業費の点検結果

・第1回検討の場で示した点検対象について、物価変動等を加味し、平成24年度実施額で時点修正。

■立野ダム建設事業 残事業費の点検結果

単位：億円

項	細目	種別	平成24年度迄 実施済み額	残事業費 [点検対象]	残事業費 [点検結果]	左記の変動要因	今後の変動要素の分析評価
建設費			350.6	462.7	454.8		
	工事費		128.4	400.0	394.4		
		ダム費	0.0	299.0	293.0	・物価変動による単価の減(△6.0億円)	概略設計段階が多いことから、今後詳細設計の実施や施工の際に想定していた地質と異なった場合に数量等が変動する可能性がある。
		管理設備費	4.1	13.9	13.6	・物価変動による単価の減(△0.3億円)	概略設計段階であることから、今後詳細設計の実施により、設備の構造や規模に変更があった場合は数量等が変動する可能性がある。
		仮設備費	124.3	81.5	82.3	・物価変動による単価の減(△1.3億円) ・H24.7災害復旧費用の増(3.1億円) ・H21実施に伴う減(△1.0億)	概略設計段階であることから、今後詳細設計の実施により、設備の内容や規模に変更があった場合は数量等が変動する可能性がある。
		工事用動力	0.0	5.7	5.5	・物価変動による単価の減(△0.2億円)	概略設計段階であることから、今後の詳細設計の実施により、仮設備の内容や規模に変更があった場合は数量等が変動する可能性がある。
	測量及試験費		141.7	37.6	35.7	・H21実施に伴う減(△1.9億)	施工の際に想定している地質が異なり、追加調査や再検討が必要となった場合などには変動する可能性がある。
	用地費及補償費		66.9	16.6	16.3		
		用地費及補償費	54.7	16.6	16.3	・物価変動による単価の減(△0.3億円)	工作物所有者との協議結果により補償内容に変更があった場合などには変動する可能性がある。
		補償工事費	11.4	0.0	0.0		
		生活再建費	0.8	0.0	0.0		
	船舶及び機械器具費		3.9	2.7	2.8	・H24.7災害復旧費用の増(0.1億円)	緊急的に設備の修繕が必要となった場合は変動の可能性がある。
	営繕費		5.7	1.7	1.7		緊急的に庁舎の修繕が必要となった場合は変動の可能性がある。
	宿舍費		3.9	3.9	3.9		緊急的に宿舍の修繕が必要となった場合は変動の可能性がある。
工事諸費			75.6	36.0	36.0		予定人員の変更等により変動する可能性がある。
合計			426.1	498.7	490.9		

注1)この検討は、今回の検証のプロセスに位置づけられている「検証対象ダム事業等の点検」の一環として行っているものであり、現在保有している技術情報等の範囲内で、今後の事業の方向性に関する判断とは一切関わりなく、現在の事業を点検するものである。

また、予断を持たずに検証を進める観点から、ダム事業の点検及び他の方策(代替案)のいずれの検討にあたって、更なるコスト縮減や工期短縮などの期待的要素は含まないこととしている。なお、検証の結論に沿っていずれの対策を実施する場合においても、実際の施工に当たってはさらなるコスト縮減や工期短縮に対して最大限の努力をすることとしている。

注2)更に検証の完了時期に遅延があった場合は、水理水文、環境モニタリング等の調査、通信機器等の点検や修繕、土地借り上げ及び借家料、事務費等の継続的費用(年間約4億円)が加わる。

注3)平成24年度迄実施額は見込額を計上している。

注4)四捨五入の関係で、合計と一致しない場合がある。